

MJサイエンス 科学の甲子園群馬県予選 (実験・課題実技競技)

平成30年12月8日(土) 群馬大学荒牧キャンパス

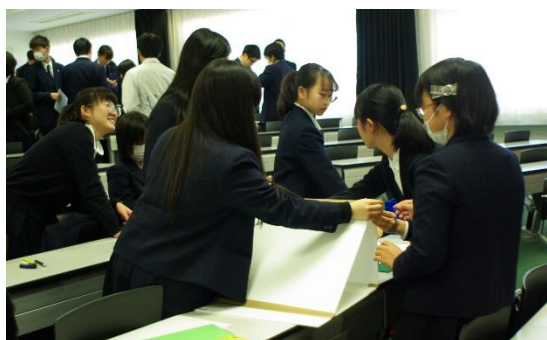
科学の甲子園群馬県予選会が、10月21日の筆記競技に続き、実験競技と課題実技競技が行われました。

実験競技については、内容等が部外秘となっていますので、ここで詳細はお伝えできませんが、生徒たちはお互いに協力し合いながら最後の1分まで問題に取り組み、すべての課題に解答することができました。

続いて課題実技競技が行われました。これは、予め公開された課題実技について、当日指定された時間内で課題を作製し、それを用いて競技を行うものです。今年度は、バドミントンのシャトルを、輪ゴムの力で障害物の先にある的を目標けて飛ばすものです。的には得点が書かれており、満点は100点です。4回実施し、合計得点で順位が決まります。本校のチームは、どのチームよりも速く課題を作製することができ、試技の後、時間をもてあますほどでした。本番では、最初の1回だけは輪ゴムの不具合で障害物を越えることができませんでしたが、2、3回目は80点、最後は100点を出すことができました。ただ残念ながら、入賞は叶いませんでした。

競技終了後、今年度からの試みとして、「サイエンスコミュニケーションゲーム」が実施されました。これは、各校混成の4名程度のチームを結成し、課題として与えられた構造物を文章で表現し、その文章だけを頼りに構造物を再現するものです。チーム内での表現力と読解力が試される、究極のゲームであると言えるでしょう。

最後に総合表彰式が行われましたが、健闘むなく、本校チームの入賞はなりませんでしたが、来年度に向けて、優勝を勝ち取れるよう、決意を新たにしたメンバーでした。



シャトル発射台の作製



シャトル発射の瞬間



サイエンスコミュニケーションゲーム
構造物を再現している様子



サイエンスコミュニケーションゲーム
振り返りの様子